

2012年6月28日

長野マラソン組織委員会 共同調査

第14回長野オリンピック記念
長野マラソン
出場者アンケート
報告書

(2012年4月15日～5月9日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4

NAPOR

一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

第14回長野オリンピック記念長野マラソンは4月15日、長野市内の長野運動公園～長野オリンピックスタジアムの2010年と同じコース42.195キロで開催した。過去最多の8769人が出場、9割近い7664人（男子6582人、女子1082人）が完走。男子はフランス・キビワット選手、女子はポーリーヌ・ワングイ選手のケニア人夫妻が初優勝した。

昨年は東日本大震災や県北部地震の影響で中止、2年ぶりの開催だったが、沿道は多くの応援の人でにぎわい、第11回・12回大会に引き続きスペシャルゲストで参加した高橋尚子さんも、市民ランナーを激励しレースを盛り上げた。

長野マラソン大会組織委員会と長野県世論調査協会は、これからの大会運営と長野市のまちづくりのあり方を探るため、恒例の参加ランナーを対象とするアンケートを共同で実施した。

◆調査の設計

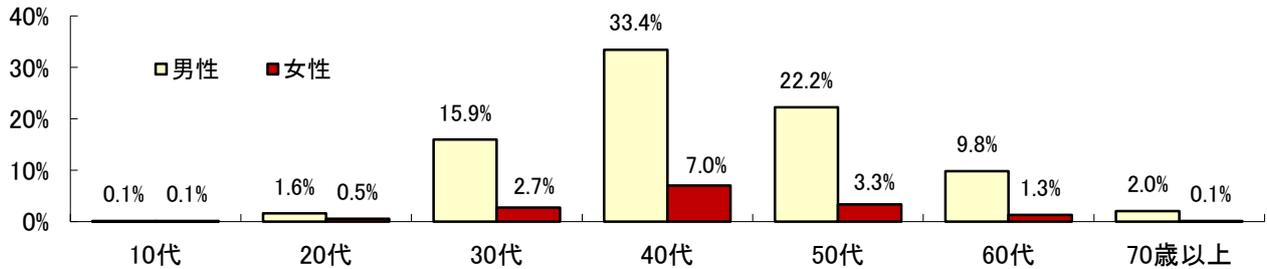
▽調査対象	国内出場一般ランナー全員 8646人 (県内4039人 県外4607人)
▽調査方法	前日の受付の際に配布 回収はインターネット、郵送、ファクス
▽調査期間	2012年4月15日～5月9日
▽回収結果	有効回収数 1502人
▽調査主体	長野オリンピック記念長野マラソン大会組織委員会 一般社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

◆サンプルの内訳

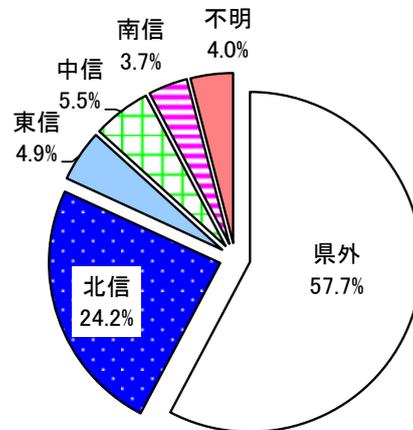
【性別と年代】

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	1502	2	32	280	607	384	166	31
	100.0%	0.1%	2.1%	18.6%	40.4%	25.6%	11.1%	2.1%
男性	1277	1	24	239	502	334	147	30
	85.0%	0.1%	1.6%	15.9%	33.4%	22.2%	9.8%	2.0%
女性	225	1	8	41	105	50	19	1
	15.0%	0.1%	0.5%	2.7%	7.0%	3.3%	1.3%	0.1%



【住所】

県外	867	57.7%
長野県内計	635	42.3%
北信	364	24.2%
東信	74	4.9%
中信	82	5.5%
南信	55	3.7%
不明	60	4.0%



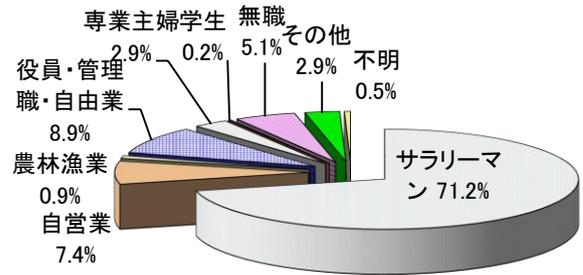
【都道府県】

北海道	3	0.3%
青森	1	0.1%
岩手	1	0.1%
宮城	6	0.7%
秋田	-	-
山形	1	0.1%
福島	5	0.6%
茨城	5	0.6%
栃木	11	1.3%
群馬	26	3.0%
埼玉	80	9.2%
千葉	47	5.4%
東京	187	21.6%
神奈川	101	11.6%
新潟	52	6.0%
富山	16	1.8%
石川	9	1.0%
福井	3	0.3%
山梨	17	2.0%
岐阜	26	3.0%
静岡	18	2.1%
愛知	78	9.0%
三重	18	2.1%
滋賀	5	0.6%

京都	7	0.8%
大阪	28	3.2%
兵庫	15	1.7%
奈良	5	0.6%
和歌山	2	0.2%
鳥取	1	0.1%
島根	-	-
岡山	6	0.7%
広島	3	0.3%
山口	1	0.1%
徳島	2	0.2%
香川	3	0.3%
愛媛	-	-
高知	3	0.3%
福岡	5	0.6%
佐賀	-	-
長崎	-	-
熊本	-	-
大分	3	0.3%
宮崎	-	-
鹿児島	-	-
沖縄	-	-
不明	67	7.7%

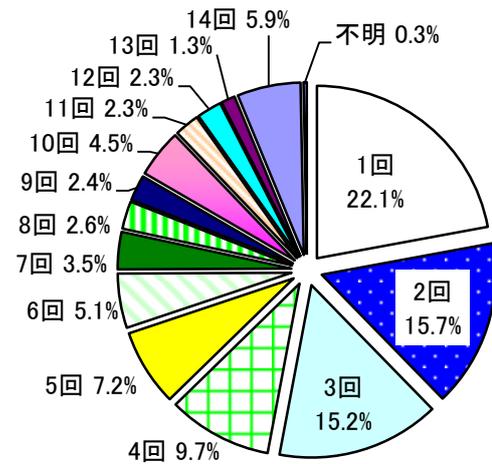
【職業】

サラリーマン	1070	71.2%
自営業	111	7.4%
農林漁業	14	0.9%
役員・管理職・自由業	134	8.9%
専業主婦	43	2.9%
学生	3	0.2%
無職	77	5.1%
その他	43	2.9%
不明	7	0.5%



【大会申し込み回数】(今大会含む)

1回	332	22.1%
2回	236	15.7%
3回	229	15.2%
4回	146	9.7%
5回	108	7.2%
6回	76	5.1%
7回	52	3.5%
8回	39	2.6%
9回	36	2.4%
10回	67	4.5%
11回	35	2.3%
12回	34	2.3%
13回	19	1.3%
14回	88	5.9%
不明	5	0.3%

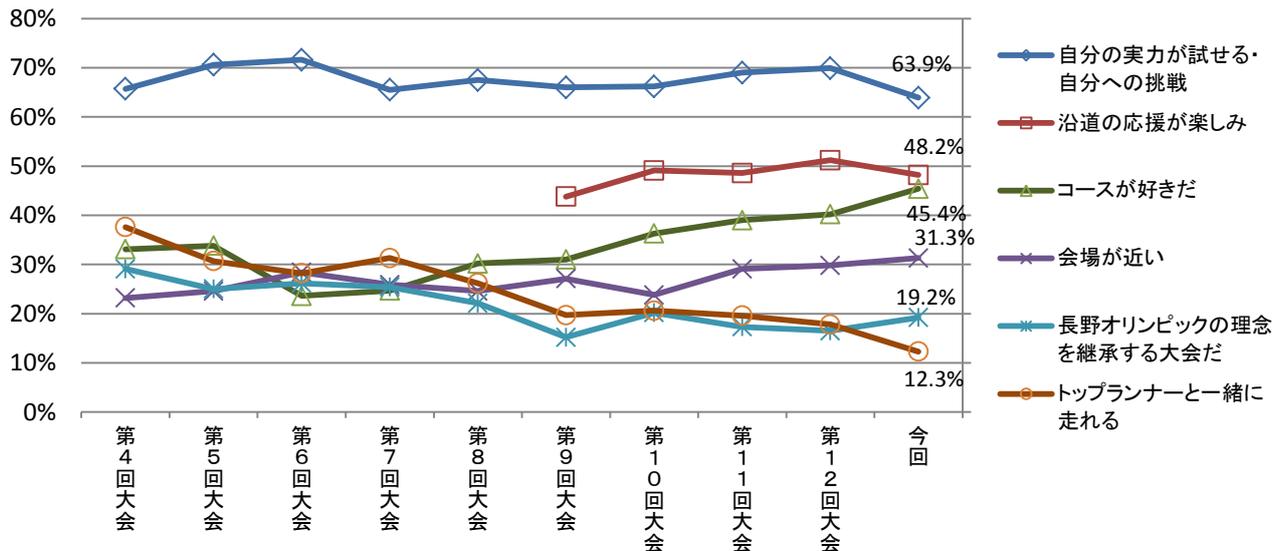


II 結果の概要

参加の動機 「自分の実力が試せる・自分への挑戦」64%

長野マラソンに参加した動機で最も多かったのは「自分の実力が試せる・自分への挑戦」の64%。2年前の第12回大会より6ポイント下がった。2番手には「沿道の応援が楽しみ」、以下「コースが好きだ」、「会場が近い」が入った。上位の項目に順位の変動はないが、「トップランナーと一緒に走れる」は6ポイントダウンで一つ順位を下げている。

県外からの参加者は「コースが好きだ」が57%でトップ。

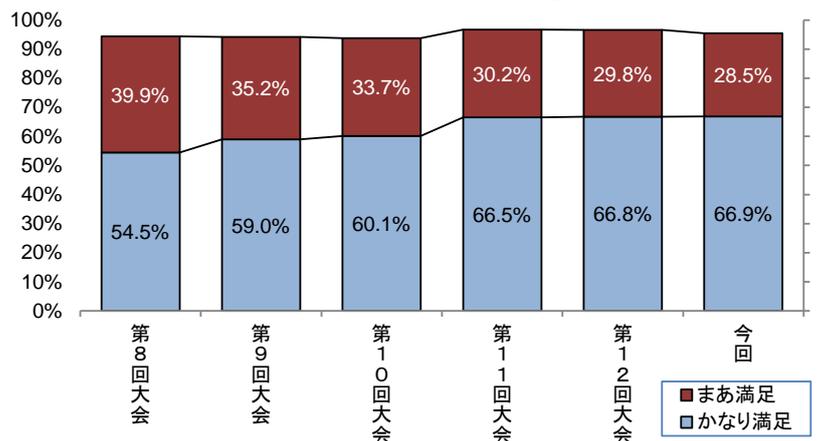


参加の感想 「かなり満足」県外参加者69%

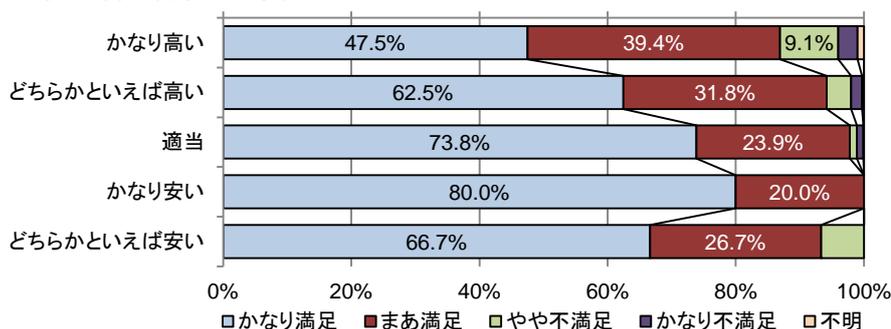
「かなり満足」が67%の高率で、11回大会から同じ水準で推移している。

東信から参加した人の「かなり満足」が77%と、県内の他地域に比べて高い。参加料を「かなり高い」と感じている人は「かなり満足」が48%と低い。

◆第8回大会からの推移(「かなり満足」「まあ満足」)



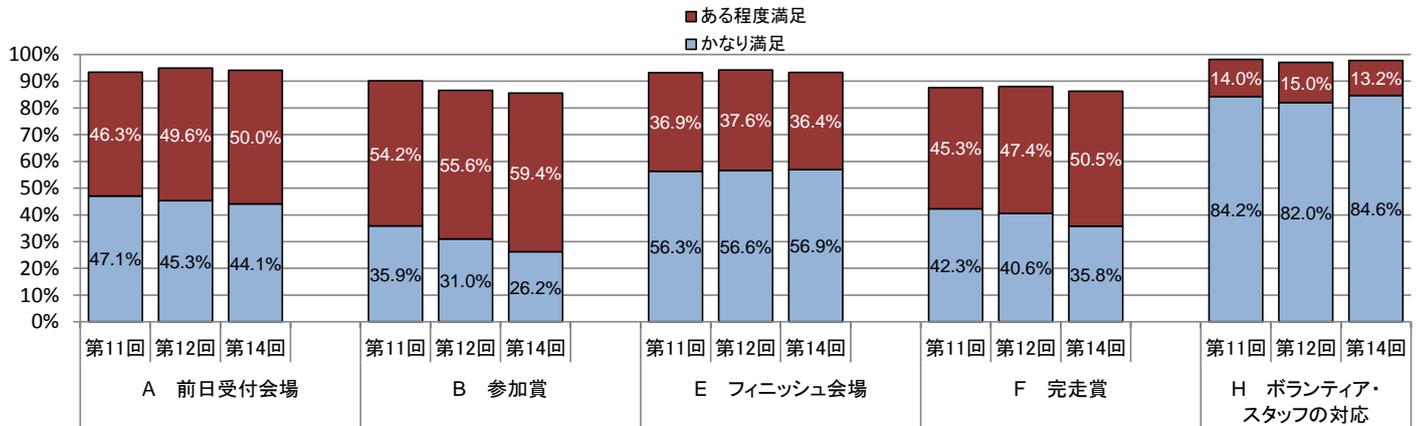
◆参加料の評価との関連では



満足度 大会運営・催し物

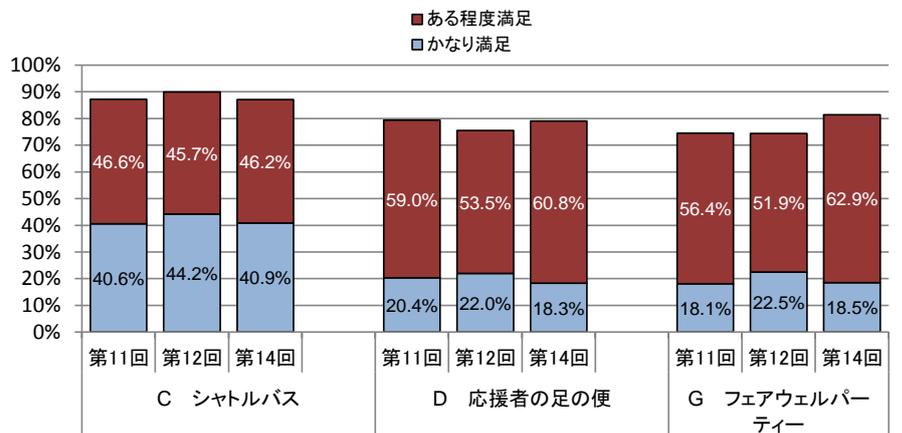
「ボランティア・スタッフの対応」に「かなり満足」「ある程度満足」の合計で98%と、ほとんどの参加者が満足と評価している。

過去調査との比較では、「参加賞」と「完走賞」で「かなり満足」が前回より約5ポイント減少している。



「シャトルバス」「応援者の足の便」「フェアウェルパーティー」は利用した人のみで集計し、推移をまとめた(右図)。

「フェアウェルパーティー」の満足度が12回より全体で7ポイント上昇しているのが立つ。



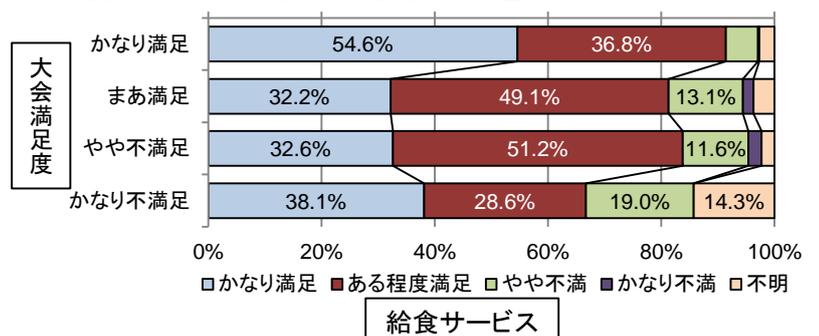
満足度 レース運営・サービス

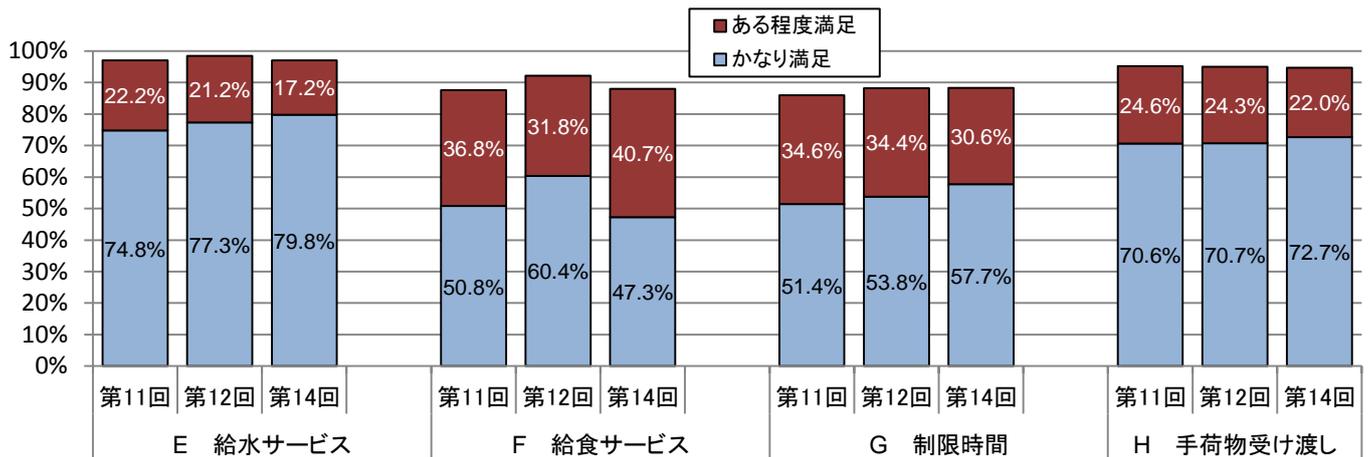
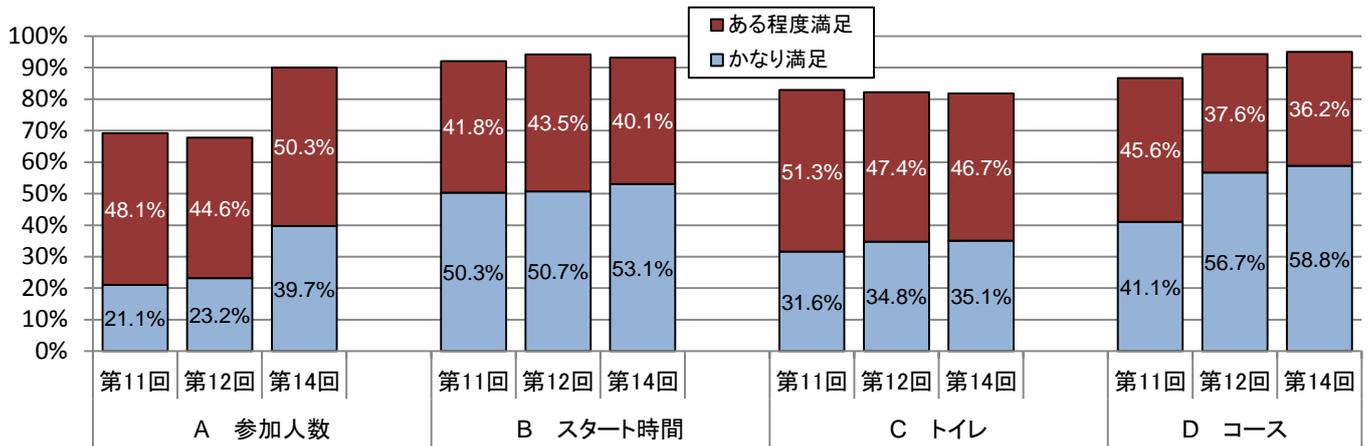
レース運営、サービスで最も満足度が高かったのは「給水サービス」で、8割の参加者が「かなり満足」と回答した。逆に不満度が高かったのは「トイレ」で、「やや不満」と「不満」が全体で17%だった。

「参加人数」については「かなり満足」が12回大会より17ポイント上昇した。参加定員が今回から2000人増えて10000人になったためと思われる。

一方「給食サービス」では「かなり満足」が13ポイント下がっている。大会の満足度が「まあ満足」と回答した人でも、「給食サービス」に「かなり満足」は32%にとどまる。

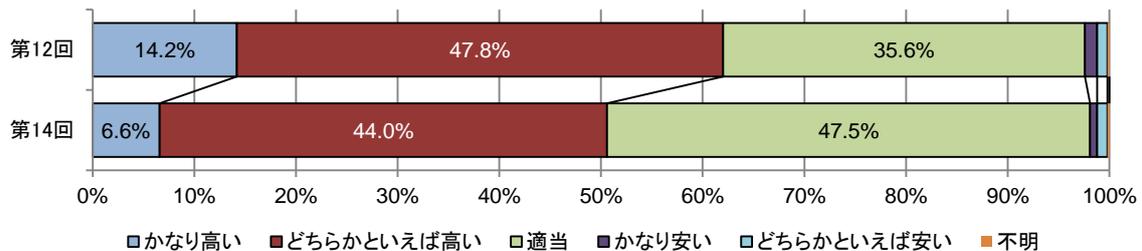
◆給食サービス～大会の満足度との関連では





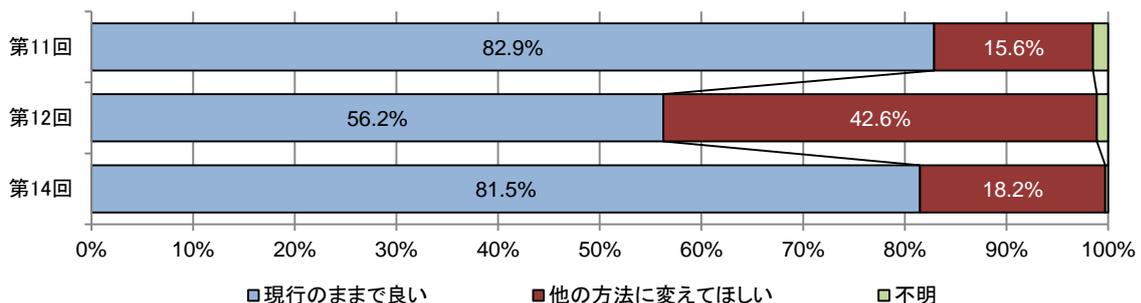
評価 参加料

「適当」が12回大会から12ポイント増の48%、「高い」が全体で11ポイント減の51%。「高い」と感じている人は全体で県内57%—県外46%、「適当」は県内41%—県外52%とそれぞれ11ポイント差で、県内勢に「割高感」がある。



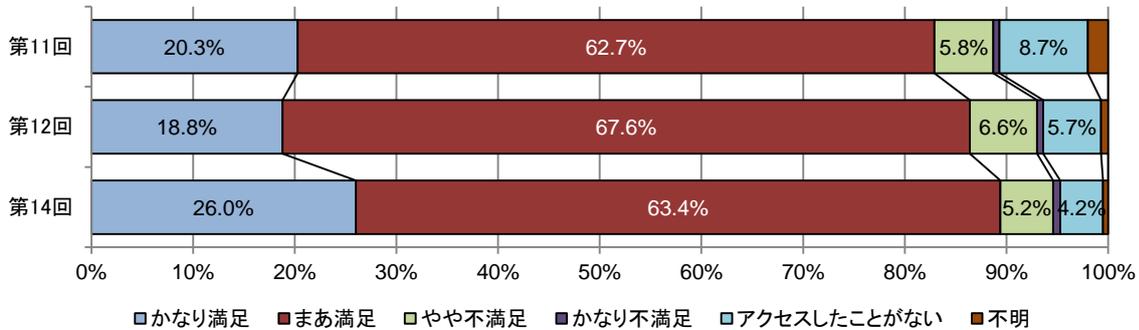
評価 エントリー

「現行のままで良い」が第12回大会より25ポイント増の82%で、第11回大会と同じ水準に戻った。高齢層、農林漁業、申し込み回数12~13回といった層で「他の方法に変えてほしい」が高かった。



評価 公式ホームページ

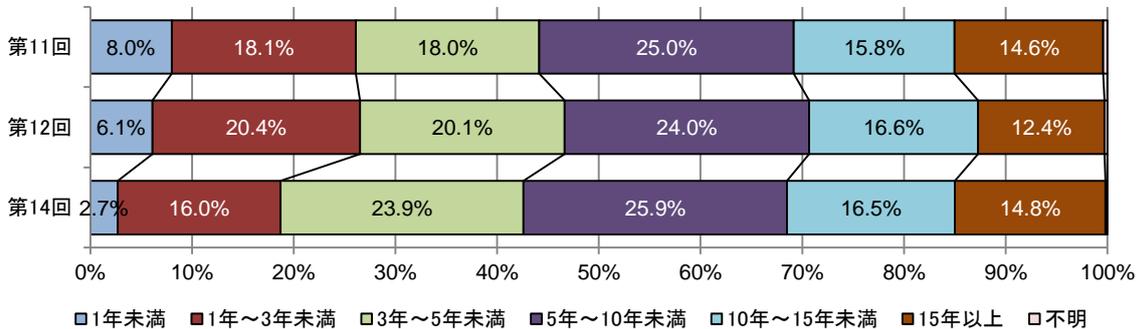
「かなり満足」が26%、「まあ満足」が63%と、全体で89%が満足と回答した。「アクセスしたことがない」はこれまでで最も低い4%で、公式ホームページが浸透している様子がうかがえるが、60歳以上の高齢層や農林漁業、主婦層で「アクセスしたことがない」がやや高め。



マラソン歴

期間とフルマラソンの経験 「5～10年未満」26% 「1年未満」は3%だけ

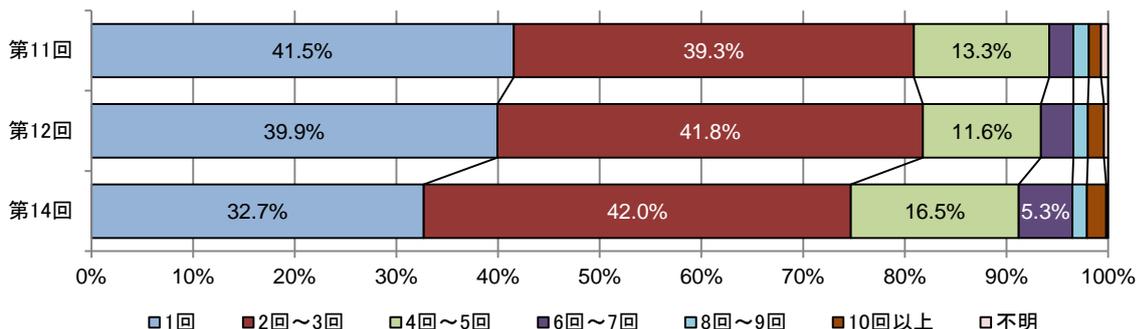
マラソンを始めてからの期間では「5年～10年未満」が最も多く26%。高齢層でキャリアの長い人が多く「15年以上」は60代で38%、70歳以上では58%に上る。3大会の推移をみると「1年未満」は今回が最も低く3%。



この1年間でのマラソン出場回数で最も多かったのは「2回～3回」の42%で、次いで「1回」の33%、「4回～5回」の17%となった。

県内勢は「1回」が57%と半数以上であるのに対し、県外勢では「2回～3回」が48%、「4回～5回」が25%と複数回出場している人が多い。

過去調査との比較では、1年間に4回以上マラソンに出場した人が増えており、今回は「4回～5回」以上の合計が25%と4人に1人の割合。

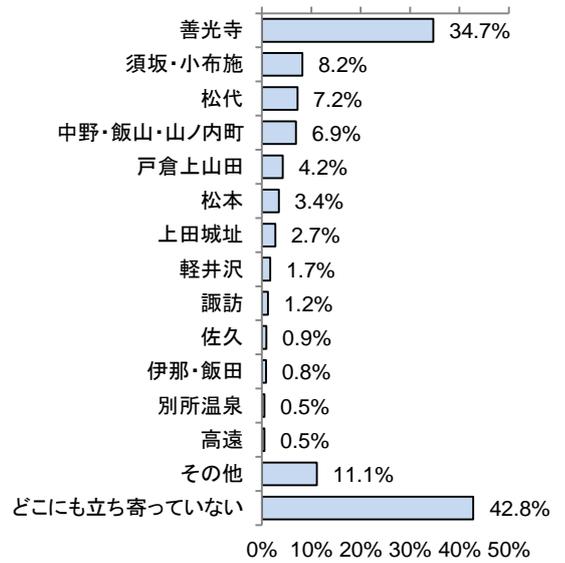


ついでに訪れた所 「善光寺」断トツ 35%

マラソン大会のついでに立ち寄ったところを複数回答で聞いた。「善光寺」が35%で最も多く、差を開き「須坂・小布施」(8%)、「松代」(7%)、「中野・飯山・山ノ内町」(7%)と長野市近郊の観光地が続いている。「どこにも立ち寄っていない」は43%だった。

県外勢は3人に2人がどこかに立ち寄っており、マラソン出場と観光が結びついている様子が見える。県内勢では「善光寺」に次いで「松代」が2番手(県外は4番手)に入っている。

県外勢が長野に到着した際の交通手段別の集計では、「マイカー」や「バス」で来た人が、鉄道利用者に対して立ち寄っている割合が高い。「バス」利用者の半数以上が「善光寺」を訪れている。



◆県外参加者の交通手段別では

